

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 4 月 2 日 (2015.4.2)

【公開番号】特開 2013-168896 (P2013-168896A)

【公開日】平成 25 年 8 月 29 日 (2013.8.29)

【年通号数】公開・登録公報 2013-046

【出願番号】特願 2012-32333 (P2012-32333)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

G 0 6 T 3/00 (2006.01)

G 0 6 T 1/20 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/74 D

G 0 3 B 21/14 Z

G 0 3 B 21/00 E

G 0 6 T 3/00 2 0 0

G 0 6 T 1/20 B

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 2 月 16 日 (2015.2.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

投影装置であって、

画像から第 1 の画像と第 2 の画像とを生成する画像生成手段と、

前記第 1 の画像を格納し、前記第 1 の画像を用いて台形補正を行う第 1 の画像処理手段と、

前記第 2 の画像を格納し、前記第 2 の画像を用いて台形補正を行う第 2 の画像処理手段と、

前記第 1 の画像処理手段によって台形補正された画像と、前記第 2 の画像処理手段によって台形補正された画像とに基づいて生成される画像をスクリーンに投影する投影手段とを有し、

前記第 1 の画像処理手段は、前記スクリーンに対する前記投影装置の傾きに基づいて、前記第 1 の画像のうち第 1 の領域に対応する画像を前記第 2 の画像処理手段に供給し、

前記第 2 の画像処理手段は、前記第 1 の領域に対応する画像及び前記第 2 の画像を用いて台形補正を行う

ことを特徴とする投影装置。

【請求項 2】

前記第 1 の画像処理手段は、前記第 1 の画像のうち第 2 の領域に対応する画像を用いて台形補正を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の投影装置。

【請求項 3】

前記第 1 の領域は、前記第 2 の領域と異なることを特徴とする請求項 2 に記載の投影装置。

【請求項 4】

前記第 2 の画像処理手段は、前記スクリーンに対する前記投影装置の傾きに基づいて、前記第 2 の画像のうち第 3 の領域に対応する画像を前記第 1 の画像処理手段に供給し、前記第 1 の画像処理手段は、前記第 3 の領域に対応する画像及び前記第 1 の画像を用いて台形補正を行うことを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の投影装置。

【請求項 5】

前記第 2 の画像処理手段は、前記第 2 の画像のうち第 4 の領域に対応する画像を用いて台形補正を行うことを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の投影装置。

【請求項 6】

前記第 3 の領域は、前記第 4 の領域と異なることを特徴とする請求項 5 に記載の投影装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、投影すべき画像を分割し、分割画像毎に台形補正を行う場合に、必要なメモリの容量を少なくすることを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明に係る投影装置は、投影装置であって、画像から第 1 の画像と第 2 の画像とを生成する画像生成手段と、前記第 1 の画像を格納し、前記第 1 の画像を用いて台形補正を行う第 1 の画像処理手段と、前記第 2 の画像を格納し、前記第 2 の画像を用いて台形補正を行う第 2 の画像処理手段と、前記第 1 の画像処理手段によって台形補正された画像と、前記第 2 の画像処理手段によって台形補正された画像とに基づいて生成される画像をスクリーンに投影する投影手段とを有し、前記第 1 の画像処理手段は、前記スクリーンに対する前記投影装置の傾きに基づいて、前記第 1 の画像のうち第 1 の領域に対応する画像を前記第 2 の画像処理手段に供給し、前記第 2 の画像処理手段は、前記第 1 の領域に対応する画像及び前記第 2 の画像を用いて台形補正を行うことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明によれば、投影すべき画像を分割し、分割画像毎に台形補正を行う場合に、必要なメモリの容量を少なくできる。